



MRJ 初飛行成功！



11月11日 午前9時35分、MRJ飛行試験機初号機は離陸速度に達すると、軽やかに、そして静かに秋の大空へと舞い上がりました。

県営名古屋空港を離陸後は、富士山を遠くに見ながら太平洋側の訓練空域へと進出。上昇、下降、左右への旋回といった基本特性の確認を行いました。最高高度は15,000ft(約4,500m)、最大速度は150Kt(約280Km/h)でした。

午前11時2分に同空港に着陸し、1時間27分に亘る初飛行は成功裏に完了しました。関係者が見守る滑走路脇の会場で、万が一に備え技術者が控えるオフィス内で、そして多数の方が見守る空港近隣の公園等で歓喜と安堵の声がかどましました。

2015年11月11日、YS-11以来53年ぶりとなる国産旅客機の初飛行完遂。私たちにとって、日本にとって、世界の航空業界にとって歴史的な一日となりました。

パイロットコメント

- ★ 一言で言うと“Fantastic!” “Great!”
- ★ 離陸の際は、離陸速度に達したら飛行機が『飛びたい』と言っている感じで、ふわっと浮き上がった。
- ★ 乗り心地、具体的には機体が安定しているか、意図どおり動けるかという点については離陸時から非常に良好であった。
- ★ 操縦してきた機体の中でもトップクラスの高いポテンシャルを持っており、素晴らしい飛行機をお届けできる確信を得た。

MRJ へのメッセージ

— Trans States Holdings, Inc. —

初飛行成功に伴い、国内外様々な方から多数のメッセージをいただきました。その中から海外ローンチカスタマーであるトランス・ステーツ・ホールディング社のリーチ社長のメッセージをご紹介します。



『三菱航空機の皆様、MRJの初飛行成功、誠にありがとうございます。トランス・ステーツ・ホールディングス社一同、このたびの輝かしい功績に対し心からお祝い申し上げます。』

弊社は、MRJがまだ机上のコンセプトであった設計初期段階からこの重要なプロジェクトに関わる幸運に恵まれ、その洗練されたプラットフォームが段々と形を成していくのを目の当たりにしてきました。そして先日、大勢の方々が見守る中、MRJは高々と大空に舞い上がりました。

初飛行成功という偉業は、最新鋭の技術を身にまとったMRJが今後、世界のリージョナルジェット市場の中核プレイヤーとなることを、世界に強く印象づけました。弊社は長年にわたりMRJチームと良好な協力関係を築いており、日本国外でMRJを購入した最初の航空会社として、顧客ニーズに対応した上質で価値あるこの機体を米国で運航できる日を心待ちにしています。

会長のカノディアをはじめとする弊社スタッフを代表して、このたびの初飛行成功に対し重ねてお祝い申し上げますとともに、今後の飛行試験の揺るぎない成功と2017年の初号機納入開始を心から祈念しております。』

フライト後の記者会見



左から戸田副操縦士、安村機長、森本社長、岸副社長



“Hot Topic”

MRJ 主翼生産工場の建設に着工

11月2日、三菱重工 神戸造船所(神戸市兵庫区)にてMRJの主翼を生産する新工場の建設を開始しました。今回着工した新工場(敷地面積5,600㎡)と隣接する既存工場(敷地面積25,400㎡)を活用し、MRJの主翼部品(外板、骨組み)や主翼と胴体を結ぶ中央翼の一貫製造を行います。

同日、新工場の着工に伴い、三菱重工 交通・輸送ドメイン 石川副ドメイン長以下出席のもと、起工式を行いました。

